

3 埼玉県予防接種実施状況調査

(1) 概要

予防接種は感染症の重要な予防対策であり、対象疾患の好発年齢までに終了し、集団としての接種率を高く維持することが望ましい。予防接種の推奨には、その効果と意義に関する十分な説明と共に、予防接種がどの程度実施されているのかという評価指標が不可欠である。

埼玉県では、予防接種実施状況を把握するため、県内市町村の協力を得て平成 9 年度から調査を行い、その詳細を毎年「埼玉県予防接種調査資料集」にまとめ、各関係機関へ配布している。

平成 30 年度調査では、平成 30 年度定期予防接種実施計画、定期外予防接種(平成 29 年度実施結果と平成 30 年度実施計画)、平成 29 年度生年別接種者数の三事項について調査し、対象 63 市町村全てから報告を受けた。

(2) 平成 30 年度定期予防接種実施計画

各定期予防接種の市町村別接種対象期間を以下にまとめた。各ワクチンの略号は、不活化ポリオワクチン：IPV、百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン(四種混合ワクチン)：DPT-IPV ワクチン、ジフテリア破傷風混合トキソイド：DT ワクチン、麻しん風しん混合ワクチン：MR ワクチン、ヘモフィルス・インフルエンザ菌 b 型：Hib、ヒトパピローマウイルス：HPV とした。

a. ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の予防接種

DPT-IPV ワクチン 1 期初回及び IPV1 期初回の対象年齢は、全市町村で生後 3 月～7 歳 6 か月であった。DPT-IPV ワクチン 1 期追加及び IPV1 期追加の開始年齢は、生後 3 月：62 市町村、1 歳 5 か月：1 市町村であった。終了年齢は全市町村で 7 歳 6 か月であった。DT ワクチン 2 期では全市町村が標準的な接種期間と同じ 11 歳～13 歳であった。

b. 麻しん及び風しんの予防接種(MR、麻しん単抗原、風しん単抗原)

1 期の対象期間は、各ワクチンともに全市町村で標準的な接種期間と同じ 1 歳～2 歳であった。2 期の対象期間は、各ワクチンともに全市町村で標準的な接種期間と同じ 5 歳～7 歳であった。

c. 日本脳炎の予防接種

日本脳炎 1 期初回の開始年齢は、生後 6 月：55 市町村、3 歳：8 市町

村であった。終了年齢は全市町村で 7 歳 6 か月であった。1 期追加の開始年齢は生後 6 月：55 市町村、3 歳：7 市町村、4 歳：1 市町村であった。終了年齢は全市町村で 7 歳 6 か月であった。2 期の対象期間は全市町村で定期接種期間と同じ 9 歳～13 歳であった。

d. 結核の予防接種(BCG)

BCG の開始年齢は、生後 0 月：55 市町村、生後 2 月：1 市町村、生後 3 月：3 市町村、生後 5 月：4 市町村であった。終了年齢は全市町村で 1 歳であった。

e. Hib 感染症の予防接種

初回の接種対象期間は、全市町村が定期接種期間と同じ生後 2 月～5 歳であった。追加の開始年齢は生後 2 月：61 市町村、生後 11 月：2 市町村であった。終了年齢は全市町村 5 歳であった。

f. 小児の肺炎球菌感染症の予防接種

初回の接種対象期間は、全市町村が生後 2 月～5 歳であった。追加の開始年齢は生後 2 月：58 市町村、1 歳：5 市町村であった。終了年齢は全市町村で 5 歳であった。

g. ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)の予防接種

開始年齢は、11 歳：59 市町村、12 歳：4 市町村であった。終了年齢は全市町村で標準的な接種期間と同じ 17 歳であった。

h. 水痘の予防接種

接種対象期間は、全市町村が 1 歳～3 歳であった。

(3) 各予防接種における接種方式

各定期予防接種について、市町村が定める個別・集団・個別集団併用(個集併用)の 3 接種方式について集計した。ほとんどの市町村で個別方式がとられているが、それ以外では、DT ワクチン 2 期の個集併用(6 市町村)、BCG の集団(1 市町村)、個集併用(7 市町村)の報告があった(表 III-3-1)。

表Ⅱ-3-1 各ワクチンの接種方式(市町村数)

接種方式	DPT-IPV	DT	IPV1期	MR	麻しん・ 風しん	日本脳炎		
	1期 初回・追加	2期	初回・追加	第1・2期	第1・2期	1期初回	1期追加	2期
個別	63	57	63	63	*61	63	63	63
集団	0	0	0	0	0	0	0	0
個集併用	0	6	0	0	0	0	0	0

接種方式	BCG	Hib	小児用	HPV	水痘	B型肝炎
		初回・追加	肺炎球菌 初回・追加	(子宮頸が ん)		
個別	55	63	63	63	63	63
集団	1	0	0	0	0	0
個集併用	7	0	0	0	0	0

*麻しん・風しん第1・2期は、「該当なし」及び「医師会との契約をしていないため、単抗原接種希望者がいた場合、混合ワクチンの接種を勧める」の各1市町村を除く。

表Ⅱ-3-2 生年別接種完了率

	平成29年 生	平成28年 生	平成27年 生	平成26年 生	平成25年 生	平成24年 生	平成23年 生	平成22年 生	平成21年 生
DPT1期初回1回目*	97.9%	102.0%	101.7%	101.5%	101.2%	101.8%	100.9%	100.6%	100.6%
DPT1期初回2回目*	87.8%	102.2%	101.5%	101.2%	101.1%	101.2%	100.6%	99.9%	100.3%
DPT1期初回3回目*	77.1%	101.8%	101.3%	100.7%	101.0%	100.6%	100.7%	99.6%	100.0%
DPT1期追加*	0.7%	59.0%	95.1%	97.7%	98.6%	98.6%	98.6%	98.5%	97.2%
ポリオ1回目†	97.9%	102.0%	101.7%	101.5%	101.2%	101.0%	88.4%	94.7%	100.5%
ポリオ2回目‡	0.7%	59.0%	95.2%	97.7%	98.6%	97.5%	93.2%	95.5%	97.5%
MR第1期	16.0%	98.2%	101.3%	100.9%	100.1%	100.3%	99.5%	98.7%	99.1%
MR第2期	-	-	-	-	-	24.1%	97.9%	97.9%	97.3%
日本脳炎1期初回1回目	0.3%	1.0%	9.3%	74.7%	88.3%	92.7%	96.5%	95.3%	93.4%
日本脳炎1期初回2回目	0.2%	0.9%	5.6%	65.3%	84.2%	88.7%	94.1%	93.2%	91.2%
日本脳炎1期追加	0.0%	0.1%	0.5%	2.5%	35.5%	61.9%	77.0%	81.1%	79.5%
水痘1回目	14.6%	95.7%	98.4%	98.4%	77.2%	34.8%	24.1%	15.9%	2.9%
水痘2回目	0.0%	44.5%	84.2%	83.2%	75.2%	50.5%	5.8%	0.0%	0.0%

(-:累積接種者0人)

接種完了率が最も高い生年

* DPTとDPT-IPVの合算

† 経口生ポリオ1回目、IPV1期初回1回目、DPT-IPV1期初回1回目の合算

‡ 経口生ポリオ2回目、IPV1期追加、DPT-IPV追加の合算

(4) 平成29年度定期予防接種実施状況

a. 生年別接種完了率

平成22年度～30年度調査までの9年間の接種者数を積み上げ、各生年の予防接種別接種完了率を算出した。

DPTワクチン(1期初回1回目～3回目、1期追加)の接種完了率が最も高かった生年は、それぞれ平成28年生(102.0%)、平成28年生(102.2%)、平成28年生(101.8%)、平成23～25年生(98.6%)であった。

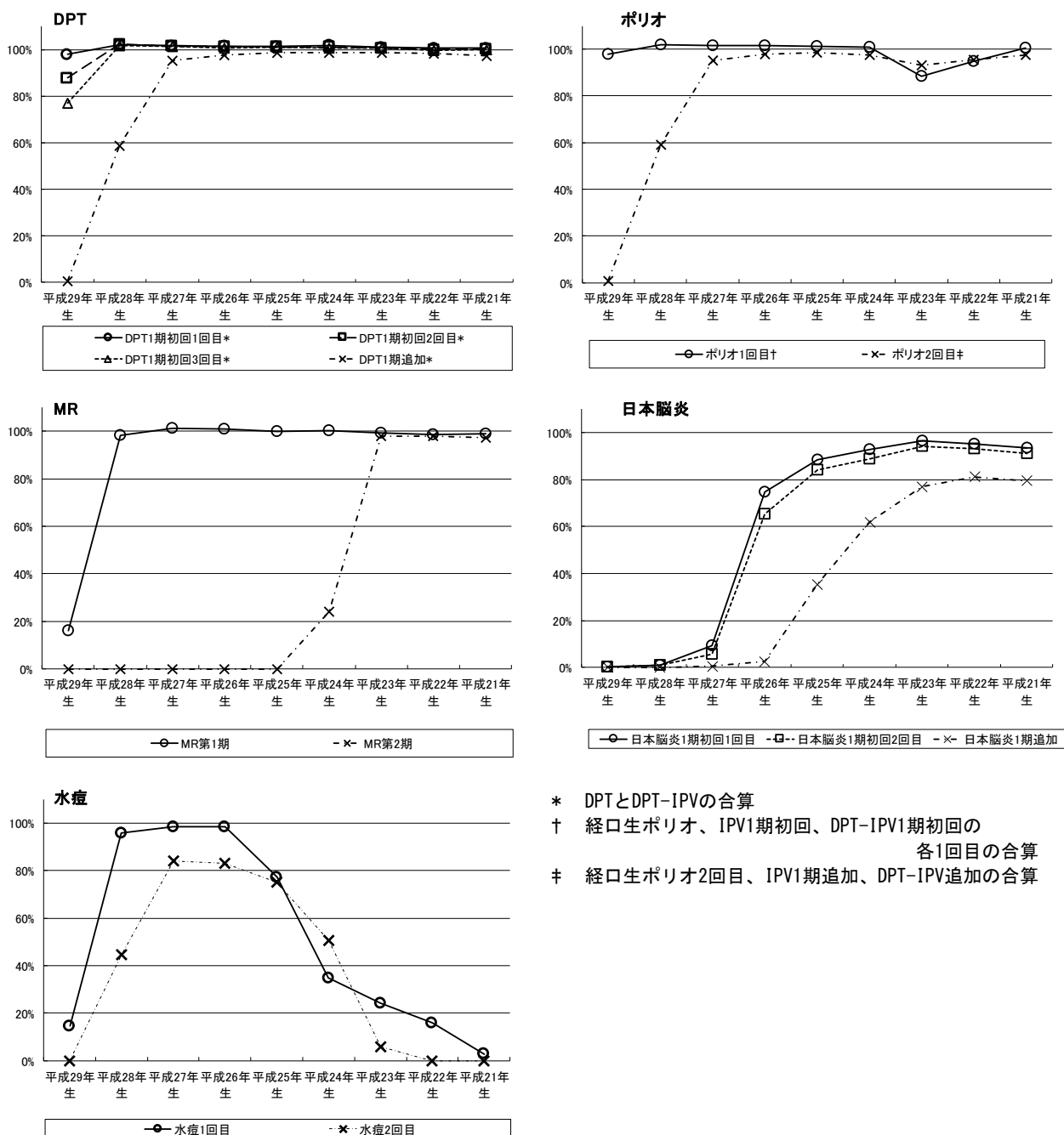


図 II - 3 - 1 各予防接種別生年別接種完了率

ポリオを含むワクチンの接種完了率が最も高かった生年は、1回目では平成28年生(102.0%)、2回目では平成25年生(98.6%)であった。

MRワクチンの接種完了率が最も高かった生年は、1期では平成27年生(101.3%)、2期では平成22～23年生(97.9%)であった。

日本脳炎ワクチン(1期初回1回目、2回目、1期追加)の生年別接種完了率が最も高かった生年は、それぞれ平成23年生(96.5%)、平成23年生

(94.1%)、平成 22 年生(81.1%)であった。

水痘ワクチンの接種完了率が最も高かった生年は、1 回目では平成 26～27 年生(98.4%)、2 回目では平成 27 年生(84.2%)であった(表 II-3-2、図 II-3-1)。

ポリオの定期接種用ワクチンは、経口生ワクチンから平成 24 年 9 月に IPV に切り替えられ、同年 11 月からは DPT-IPV ワクチンが追加導入された。ワクチンの変更に伴って、ポリオ 1 回目(経口生ポリオ、IPV1 期初回、DPT-IPV ワクチン 1 期初回の各 1 回目の合算)の接種完了率低下が平成 22 年生と平成 23 年生で見られていたが、平成 30 年度調査の結果を加えてもそれが解消されていないことが明らかとなった。

b. 生年別接種完了率の経年変化

DPT、ポリオ、麻しん、風しん、日本脳炎について接種完了率の経年変化を示した。

DPT ワクチン 1 期初回 1～3 回目は、標準的な接種期間に最も合致する年齢の生年の接種完了率を比較した結果、使用するワクチンとして DPT-IPV ワクチンが追加され、接種完了率がより向上し、高い水準に維持されている。(表 II-3-3)。

表 II-3-3 DPT1 期初回 1～3 回目の接種完了率の経過

DPT 1期初回	①平成22 年度調査 平成21年生	②平成23 年度調査 平成22年生	③平成24 年度調査 平成23年生	④平成25 年度調査 平成24年生	⑤平成26 年度調査 平成25年生	⑥平成27 年度調査 平成26年生	⑦平成28 年度調査 平成27年生	⑧平成29 年度調査 平成28年生	⑨平成30 年度調査 平成29年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
1回目	79.6%	82.5%	88.6%	91.8%	94.6%	96.0%	97.8%	97.8%	97.9%	+18.3
2回目	69.6%	72.2%	77.5%	79.8%	84.3%	85.9%	89.3%	88.5%	87.8%	+18.2
3回目	59.0%	61.0%	65.7%	67.6%	73.6%	74.8%	80.0%	77.6%	77.1%	+18.1
ワクチンの 種類	DPT	DPT	DPT	DPT+ DPT-IPV	DPT+ DPT-IPV	DPT+ DPT-IPV	DPT+ DPT-IPV	DPT+ DPT-IPV	DPT-IPV	

ポリオの予防接種において、各調査年度で生後 3 月を迎える生年と比較した。1 回目の平成 30 年度調査の平成 29 年生と平成 29 年度調査の平成 28 年生の比較では同程度の接種完了率であった。

2 回目の接種完了率が低いままであるが、これは平成 25 年度に DPT-IPV ワクチン及び IPV の接種を始めた者は 1 期追加の標準接種期間に達するものがほとんどいないことによるものと考えられる(表 II-3-4)。

同様に、全ての対象者が IPV 及び DPT-IPV ワクチンの標準接種期間を超える生年と比較した。平成 30 年度調査の平成 28 年生と平成 29 年度調査の平成 27 年生を比べたところ接種完了率はほぼ同程度であり、高い水準を維持していた(表 II-3-5)。

表Ⅱ-3-4 ポリオ接種完了率の経過(生後3か月を迎える生年)

ポリオ	①平成22年度調査 平成21年生	→	②平成23年度調査 平成22年生	→	③平成24年度調査 平成23年生	→	④平成25年度調査 平成24年生	→	⑤平成26年度調査 平成25年生	→	⑥平成27年度調査 平成26年生	→	⑦平成28年度調査 平成27年生	→	⑧平成29年度調査 平成28年生	→	⑨平成30年度調査 平成29年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
1回目*	40.1%	→	39.0%	→	26.0%	→	87.6%	→	94.5%	→	96.0%	→	97.8%	→	97.8%	→	97.9%	+57.8
2回目**	7.1%	→	6.5%	→	3.8%	→	0.2%	→	0.4%	→	0.9%	→	0.5%	→	0.7%	→	0.7%	-6.4
ワクチンの種類	経口生ポリオ		経口生ポリオ		経口生ポリオ		経口生ポリオ+IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV	

* 平成25年度調査以降の接種者数は経口生ポリオ1回目、IPV1期初回1回目、DPT-IPV1期初回1回目の合算
** 平成25年度調査以降の接種者数は経口生ポリオ2回目、IPV1期追加、DPT-IPV1期追加の合算

表Ⅱ-3-5 ポリオ接種完了率の経過

ポリオ	①平成22年度調査 平成20年生	→	②平成23年度調査 平成21年生	→	③平成24年度調査 平成22年生	→	④平成25年度調査 平成23年生	→	⑤平成26年度調査 平成24年生	→	⑥平成27年度調査 平成25年生	→	⑦平成28年度調査 平成26年生	→	⑧平成29年度調査 平成27年生	→	⑨平成30年度調査 平成28年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
1回目*	96.6%	→	95.6%	→	95.5%	→	85.3%	→	82.4%	→	100.1%	→	101.0%	→	100.3%	→	102.0%	+5.4
2回目**	74.4%	→	69.8%	→	71.4%	→	60.3%	→	23.5%	→	38.2%	→	55.3%	→	61.0%	→	59.0%	-15.4
ワクチンの種類	生ポリオ		生ポリオ		生ポリオ		生ポリオ+IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV		IPV+DPT-IPV	

* 平成25年度調査以降の接種者数は経口生ポリオ1回目、IPV1期初回1回目、DPT-IPV1期初回1回目の合算
** 平成25年度調査以降の接種者数は経口生ポリオ2回目、IPV1期追加、DPT-IPV1期追加の合算

MR ワクチンは、1歳になって早い時期に接種した1~3月生まれが該当する生年を平成22年度調査から9年間比較した結果、平成30年度調査の接種完了率は、平成22年度調査結果に比べ向上し、前年度調査と同程度であった(表Ⅱ-3-6)。

平成30年度調査で全ての対象者が1期対象年齢を迎えている平成28年生のMR ワクチン1期接種完了率は前年度調査に引き続き向上した(表Ⅱ-3-7)。

表Ⅱ-3-6 麻疹、風しん1期接種完了率の経過(1~3月生まれ)

第1期	①平成22年度調査 平成21年生	→	②平成23年度調査 平成22年生	→	③平成24年度調査 平成23年生	→	④平成25年度調査 平成24年生	→	⑤平成26年度調査 平成25年生	→	⑥平成27年度調査 平成26年生	→	⑦平成28年度調査 平成27年生	→	⑧平成29年度調査 平成28年生	→	⑨平成30年度調査 平成29年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
MR	13.3%	→	13.2%	→	13.6%	→	15.4%	→	14.7%	→	15.2%	→	15.4%	→	16.4%	→	16.0%	+2.7

表Ⅱ-3-7 麻疹、風しん1期接種完了率の経過

第1期	①平成22年度調査 平成20年生	→	②平成23年度調査 平成21年生	→	③平成24年度調査 平成22年生	→	④平成25年度調査 平成23年生	→	⑤平成26年度調査 平成24年生	→	⑥平成27年度調査 平成25年生	→	⑦平成28年度調査 平成26年生	→	⑧平成29年度調査 平成27年生	→	⑨平成30年度調査 平成28年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
MR	90.6%	→	91.3%	→	91.6%	→	94.1%	→	94.9%	→	95.7%	→	96.7%	→	97.2%	→	98.2%	+7.6

日本脳炎1期初回の標準接種期間に該当する生年のうち、接種1回目及び2回目が重なる生年について比較した結果、前年度調査に引き続き接種完了率は向上した(表Ⅱ-3-8)。

表Ⅱ-3-8 日本脳炎 1 期初回 1～2 回目接種完了率の経過

日本脳炎 1期初回	①平成22 年度調査 平成17年生	→	②平成23 年度調査 平成18年生	→	③平成24 年度調査 平成19年生	→	④平成25 年度調査 平成20年生	→	⑤平成26 年度調査 平成21年生	→	⑥平成27 年度調査 平成22年生	→	⑦平成28 年度調査 平成23年生	→	⑧平成29 年度調査 平成24年生	→	⑨平成30 年度調査 平成25年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
1回目	2.0%	→	11.0%	→	53.7%	→	74.9%	→	77.4%	→	78.6%	→	83.6%	→	84.4%	→	88.3%	+ 86.3
2回目	1.9%	→	9.7%	→	50.4%	→	72.5%	→	74.1%	→	74.8%	→	79.6%	→	80.1%	→	84.2%	+ 82.3

c. 標準的な接種期間に最も多く該当する生年の市町村別予防接種完了率一覧

各予防接種の標準的な接種期間に最も多く該当する生年における市町村別接種完了率を表Ⅱ-3-9に示した。

DPT ワクチン 1 期初回 1 回目(平成 29 年生)は 86.6～107.6%、ポリオ 1 回目(平成 29 年生)は 86.6～107.6%、MR ワクチン 第 1 期(平成 28 年生)は 72.7～106.2%、第 2 期(平成 23 年生)は 77.8%～133.3%、日本脳炎 1 期初回 1 回目(平成 26 年生)は 54.0%～100.0%、水痘 ワクチン 1 回目(平成 28 年生)は 72.7～106.4%に分布した。

表Ⅱ-3-9 推奨年齢における市町村別接種完了率一覧
(平成30年度調査)

保健所	市町村名	DPT 1期初回1回目 平成29年生	ポリオ1回目 平成29年生	MR第1期 平成28年生	MR第2期 平成23年生	日本脳炎 1期初回1回目 平成26年生	水痘 1回目 平成28年生
南部	蕨市	107.6%	107.6%	105.2%	85.6%	71.1%	104.3%
	戸田市	101.5%	101.6%	96.9%	92.4%	75.0%	94.6%
朝霞	朝霞市	97.6%	97.6%	96.3%	90.4%	79.2%	93.8%
	志木市	98.8%	98.8%	97.6%	102.2%	82.4%	94.4%
	和光市	97.1%	97.1%	92.4%	85.2%	68.6%	91.2%
	新座市	99.3%	99.3%	97.7%	99.9%	84.1%	95.3%
	富士見市	97.2%	97.2%	95.7%	95.0%	66.6%	92.3%
	ふじみ野市	97.6%	97.6%	100.6%	111.6%	81.0%	98.1%
春日部	春日部市	95.6%	95.6%	93.4%	90.6%	63.7%	90.2%
	松伏町	97.1%	97.1%	96.0%	103.4%	76.2%	93.0%
	草加市	89.8%	89.8%	95.3%	85.2%	68.4%	93.0%
草加	八潮市	98.4%	98.4%	99.9%	90.6%	77.9%	95.7%
	三郷市	98.1%	98.1%	102.9%	104.2%	74.8%	98.2%
	吉川市	95.5%	95.5%	97.0%	112.1%	85.8%	89.7%
	鴻巣市	98.9%	98.9%	95.0%	104.8%	73.6%	92.2%
鴻巣	上尾市	97.2%	97.2%	98.7%	97.7%	70.9%	96.0%
	桶川市	94.8%	94.8%	96.5%	98.1%	73.9%	95.6%
	北本市	94.3%	94.3%	95.6%	94.7%	74.0%	89.9%
	伊奈町	95.3%	95.3%	94.2%	94.9%	81.2%	92.1%
	東松山市	98.3%	98.3%	97.5%	108.5%	82.9%	85.7%
東松山	滑川町	96.1%	96.1%	103.4%	86.9%	88.3%	103.4%
	嵐山町	96.7%	96.7%	92.1%	99.1%	85.5%	90.4%
	小川町	86.6%	86.6%	91.9%	111.1%	70.8%	88.9%
	川島町	98.9%	98.9%	100.0%	100.0%	92.0%	98.7%
	吉見町	100.0%	100.0%	106.2%	102.2%	71.0%	103.7%
	ときがわ町	93.5%	93.5%	86.3%	133.3%	79.1%	88.2%
	東秩父村	100.0%	100.0%	72.7%	77.8%	84.6%	72.7%
	坂戸市	98.0%	98.0%	100.9%	101.8%	80.4%	100.6%
坂戸	鶴ヶ島市	103.5%	103.5%	102.2%	91.4%	73.8%	98.4%
	毛呂山町	94.5%	94.5%	94.9%	107.3%	81.4%	85.4%
	越生町	89.2%	89.2%	90.4%	93.9%	90.4%	80.8%
	鳩山町	100.0%	100.0%	95.3%	108.8%	100.0%	93.0%
	所沢市	98.1%	98.1%	98.1%	94.5%	84.0%	96.8%
狭山	飯能市	94.5%	94.5%	97.1%	100.2%	67.2%	90.7%
	狭山市	96.0%	96.0%	96.1%	96.1%	79.1%	93.3%
	入間市	95.7%	95.7%	95.7%	103.2%	72.0%	91.1%
	日高市	93.4%	93.4%	92.7%	97.6%	74.6%	84.0%
	行田市	96.2%	96.2%	95.3%	94.2%	72.6%	89.3%
加須	加須市	99.8%	99.8%	102.7%	107.9%	82.5%	99.3%
	羽生市	102.2%	102.2%	102.7%	106.1%	88.6%	106.4%
	久喜市	96.9%	96.9%	96.2%	100.2%	69.5%	91.2%
幸手	蓮田市	94.5%	94.5%	98.0%	90.2%	78.2%	97.3%
	幸手市	96.3%	96.3%	94.8%	103.2%	82.2%	89.6%
	白岡市	99.0%	99.0%	98.8%	105.6%	80.2%	93.7%
	宮代町	89.5%	89.5%	103.2%	121.7%	91.4%	101.9%
	杉戸町	97.8%	97.8%	96.2%	97.0%	54.0%	91.3%
	熊谷市	95.0%	95.0%	95.2%	93.3%	74.1%	93.4%
熊谷	深谷市	97.8%	97.8%	98.5%	101.7%	68.9%	96.9%
	寄居町	101.0%	101.0%	100.0%	91.0%	82.9%	95.8%
	本庄市	97.8%	97.8%	97.3%	104.6%	79.3%	94.4%
本庄	美里町	97.1%	97.1%	85.9%	110.0%	78.6%	101.6%
	神川町	100.0%	100.0%	92.6%	91.6%	63.0%	85.1%
	上里町	102.9%	102.9%	100.0%	104.0%	81.3%	99.5%
	秩父市	100.3%	100.3%	101.8%	95.1%	74.3%	100.8%
秩父	横瀬町	93.8%	93.8%	95.2%	86.0%	80.4%	93.5%
	皆野町	103.8%	103.8%	86.8%	87.7%	74.6%	81.1%
	長瀨町	91.3%	91.3%	87.5%	118.4%	64.9%	90.6%
	小鹿野町	90.0%	90.0%	87.8%	95.3%	68.3%	90.2%
	さいたま市	さいたま市	97.6%	97.6%	99.4%	101.6%	70.9%
川越市	川越市	99.1%	99.1%	97.7%	100.4%	74.5%	94.6%
越谷市	越谷市	94.8%	94.8%	96.2%	99.7%	66.7%	93.2%
川口市	川口市	104.0%	104.0%	102.1%	91.9%	80.7%	104.7%
埼玉県		97.9%	97.9%	98.2%	97.9%	74.7%	95.7%

DPT1期初回1回目：DPTとDPT-IPVの合算

ポリオ1回目：平成25年度調査以降の接種者数は経口生ポリオ1回目、IPV1期初回1回目、DPT-IPV1期初回1回目の合算

(5) 平成 29・30 年度定期外予防接種実施状況

平成 29・30 年度定期外予防接種を比較すると、平成 29 年度に何らかの定期外予防接種を実施していたのは 42 市町村(実施なし: 21 市町村)であったのに対し、平成 30 年度に計画しているのは 41 市町村(計画なし: 22 市町村)で、1 市町村減少した(表 II-3-10)。

表 II-3-10 平成 29・30 年度定期外予防接種の比較

予防接種項目	平成29年度		平成30年度		その他内訳	平成 29年度 実施数	平成 30年度 計画数
	実施数	実施率	計画数	計画率			
BCG	2	3.2%	2	3.2%			
小児インフルエンザ	16	25.4%	17	27.0%			
肺炎球菌(高齢者)	24	38.1%	23	36.5%			
水痘	3	4.8%	3	4.8%			
流行性耳下腺炎	9	14.3%	10	15.9%			
ロタ	10	15.9%	11	17.5%			
麻しん単抗原	1	1.6%	1	1.6%	インフルエンザ	2	2
風しん単抗原	14	22.2%	14	22.2%	HPV(子宮頸がん)	2	2
MR	19	30.2%	15	23.8%	日本脳炎	2	1
その他*	10	15.9%	8	12.7%	B型肝炎	4	1

*定期期間内で受けられなかった予防接種を救済するとして2市町村及び骨髄移植等に対する人への再接種を行うとした1市町村を含む。